



# GTレンジャーによる本町の特色ある 山岳地形を活かした観光振興は

町長＝開設後の管理や費用対効果などの問題がある

## 問

国土地理院の地図で本町

を見ると多くの山々が散在し、それらの山頂は高低差の少ない勾配、曲線つまり稜線、尾根により繋がっています。いわゆる登山の縦走コースです。そこでスキー場を冬シーズン以外にも活用するため、たかづえスキー場から、だいくらスキー場そして「南郷スキー場」までの稜線をつなぐ登山ルートを開設、それらのスキー場ロジックはトレイル、食事などの休憩所、登山者のベースキャンプと活用してはと考えます。ちなみにその登山ルートの新設を担う人材は、「新しい道をつくる挑戦者」であり、未開の地を開拓する精神を有する者、GTレンジャー（仮称）と命名し、ちなみに、GTレンジャーのGTとは、緑茶、グリーンティーの頭文

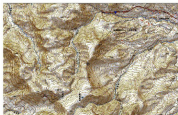
字で、森林のグリーン、茶は音声的に「ちや」でその後のレンジャーでチャレンジャー（挑戦者）です。このGTレンジャーを町内から募集し、この新しい山岳ルートを開設し観光振興しては

## 町長

地図で確認したところ、

各スキー場を繋ぐ登山ルートを想定した場合、その稜線や高低は比較的緩やかな勾配である」と推測されます。また、登山ルート周辺には、天然のブナ林が広がる場所や歴史的にも重要な「巡行使の道」「木地師集落跡、墓地」などがあり、本町の豊かな自然と奥深い歴史を感じる魅力的なルートになると思われます。しかし、この登山道を開設するには、その場所の現地調査や開設する人材や維持管理を担う人材、開設後の維持管理費用が観光誘客に係る経済効果など

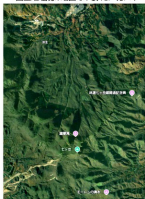
の問題があります。議員からの意見として受け止めます。



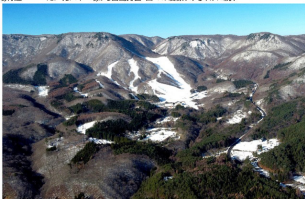
国土地理院の地図でみる、たぐらスキー場付近



たぐらスキー場から田島方面・山々の稜線がゆるやかに続く



たかつスキー場(下)、たぐらスキー場(上)



中央が、たぐらスキー場、その左方向がたかつスキー場、右方向が南郷スキー場

## 【その他の質問】

この冬の高齢者等除雪支援体制の計画、見直しは  
（一）で授業風景が変わる中、児童生徒、先生方の状況は